

地球温暖化& エネルギー問題 総合統計 2022



ウクライナ侵攻で高騰するエネルギー価格！
脱炭素政策は、温暖化対策は？そして、私達の生活を考えるための総合的データ集。

きっと使えるデータがあります



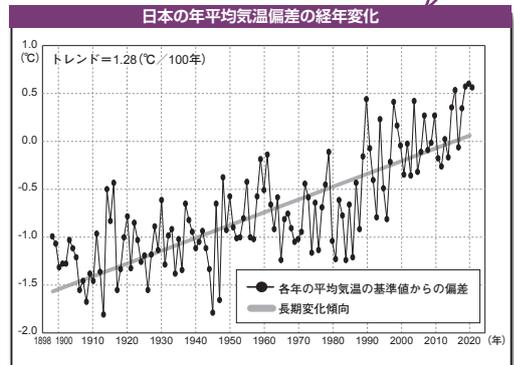
- ISBN978-4-86563-082-4
- 三冬社 編集制作部 編
- 2022年3月24日発行
- A4判328頁
- 定価 本体 14,800円+税

より詳しくは、三冬社ホームページまで
<https://www.santho.net/>

例えばこんなことがわかります！

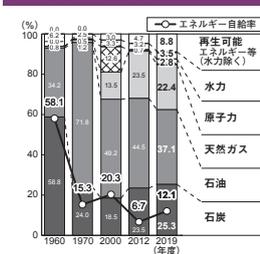
- 地球の大気中のCO₂年平均濃度の変化
316.9ppm(1960年)⇒402.9ppm(2016年)
- 地球の人為的CO₂排出量の変化
5,977(100万トンCO₂)(1950年)⇒36,139(100万トンCO₂)(2014年)
- 日本の温室効果ガスの排出状況
1,382(百万トン)(2005年度)⇒1,213(百万トン)(2019年度)
- 日本の2019年度のエネルギー起源CO₂の排出内訳
産業部門 37.5% 運輸部門 20.1% 業務その他部門 18.7%
家庭部門 15.5% エネルギー転換部門 8.7%
- 電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド自動車(PHV)、
燃料電池自動車(FCV)の保有台数の増加
13.8万台(2015年度)⇒28.7万台(2020年度)
- ハイブリッド自動車の保有台数の増加
576万台(2015年度)⇒1,166万台(2020年度)
- 今後、日本で利用・活用していけばよいと思うエネルギー
1位 太陽光発電 74.7% 2位 風力発電 62.8%
3位 水力発電 53.4% 4位 地熱発電 40.7%
5位 バイオマス発電 33.1%
- 日本の一次エネルギーの国内供給の構成割合(2019年度)
石油 37.1% 石炭 25.3% 天然ガス 22.4%
再生可能エネルギー(水力除く) 8.8% 水力 3.5%
原子力 2.8%
- 資源エネルギー庁の予想する2030年度の電源構成
再生可能エネルギー 36~38% 原子力 20~22%
天然ガス 20% 石炭 19% 石油等 2%
水素・アンモニア 1%
- 100年前に比べた日本近海の海域海面水温の上昇温度
+1.16(°C/100年)
- 100年前に比べた日本近海の季節別海域海面水温の上昇温度
冬(1月~3月) +1.53(°C/100年)
春(4月~6月) +1.12(°C/100年)
夏(7月~9月) +0.73(°C/100年)
秋(10月~12月) +1.31(°C/100年)

最新トレンドから都道府県別のデータまで幅広く網羅！

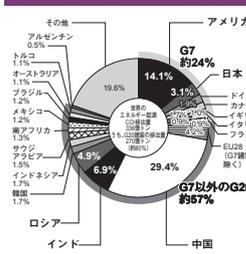


10年ごとの更新です。基準値は、1991~2020年の30年平均値で最新版！

日本の一次エネルギー国内供給
成及び自給率の推移



世界のエネルギー起源CO₂排出量
(2019年)に占めるG20諸国の割合



※上記図表サンプルは本書図をわかりやすく加工したものです。

経営改善、マーケティング、企画提案等に役立つ資料を多数収録。

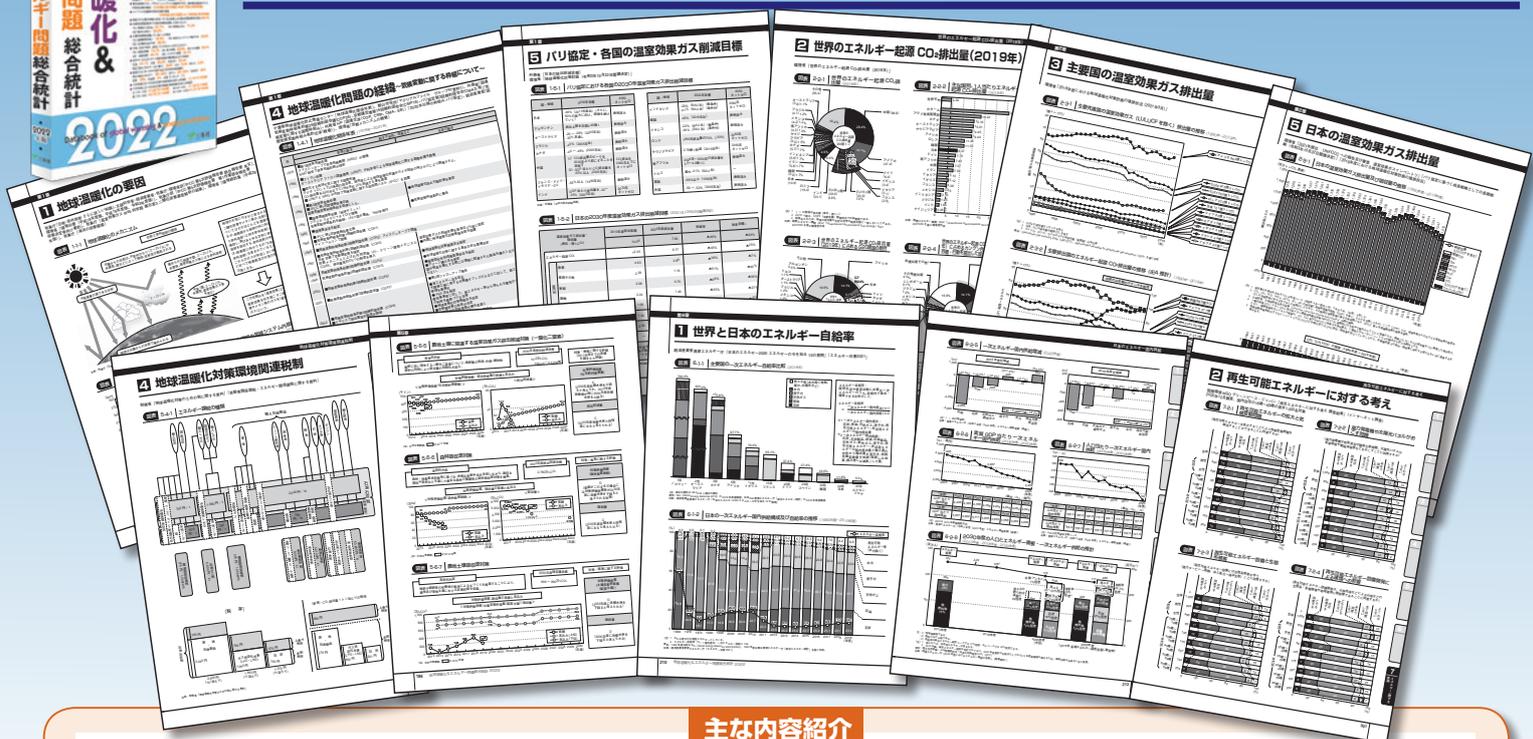
キリトリ線 ✂

発行・発売 三冬社 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2 TEL.03-3231-7739/FAX.03-3231-7735

書籍購入申込書		申込月日
地球温暖化&エネルギー問題総合統計 2022	ISBN978-4-86563-082-4 定価本体 14,800円+税	年 月 日
食の安全と健康意識データ集 2022	ISBN978-4-86563-080-0 定価本体 14,800円+税	
食生活データ総合統計年報 2022	ISBN978-4-86563-079-4 定価本体 14,800円+税	書店名/販売店
余暇・レジャー&観光総合統計 2021	ISBN978-4-86563-072-5 定価本体 14,800円+税	全国の書店でお申込み頂けます
災害と防災・防犯統計データ集 2021	ISBN978-4-86563-074-9 定価本体 14,800円+税	
機関名・団体名		
部署名	お名前	
お届け先〒		
TEL.	FAX.	メールアドレス

地球温暖化 & エネルギー問題総合統計 2022

国、自治体から企業まで実態と意識、対策などあらゆるデータを集録



主な内容紹介

1章 地球温暖化とは

地球温暖化の要因 / 温暖化がもたらす影響・予測 / 日本における温暖化予測 / 地球温暖化問題の経緯 / パリ協定・各国の温室効果ガス削減目標 など

2章 温室効果ガスの排出量データ

主要国の温室効果ガス排出量 / 世界のエネルギー起源CO₂排出量 / 日本の温室効果ガス排出量 / 国連気候変動枠組条約附属書I国の2019年の温室効果ガス排出量データ(1990年との比較) など

3章 自然環境の変化・影響

世界と日本の気温の変化 / 日本における極端現象 / ヒートアイランド現象 / オゾン層の変化 / 酸性雨 / 海洋の変化 / 森林の状況 / 世界の異常気象 など

4章 温暖化に対する意識

気候変動に関する世論調査 / 温室効果ガス排出抑制に対する意識 / SDGsに関する企業の意識 / カーボンニュートラル実現に向けた企業意識 / 気候変動に関する意識の国際比較 など

5章 温暖化対策

日本の地球温暖化対策計画における対策・施策 / 2019年度における団体別地球温暖化対策計画の進捗状況 / 代替フロンからグリーンフロン冷媒への転換 / 農業分野における地球温暖化対策 / 遮熱性舗装 / 住宅と非住宅の0エネルギー化 など

6章 エネルギーに関するデータ

世界と日本のエネルギー自給率 / 世界と日本のエネルギー資源と消費 / 日本のエネルギー国内供給 / 再生可能エネルギー / 太陽光発電 / 風力発電 / 地熱 / 水素エネルギー / 原子力発電 など

7章 エネルギーに関する意識

投資家の2020年以降の展望 / 再生可能エネルギーに対する考え / 節電意識 / 太陽光発電と家庭の電気料金に関する意識 / 原子力に関する意識 など

主な出典元：官庁統計、各種企業・団体

食の安全と健康意識データ集
2022

食生活データ総合統計年報
2022

余暇・レジャー & 観光
総合統計 2021

災害と防災・防犯
統計データ集 2021



ISBN978-4-86563-080-0(2022年2月刊行)
A4判・328頁・定価14,800円+税
ノロウイルスや鳥インフルエンザなど……
食の安全と健康を守る社会システムをどう
構築するかを考えるための豊富な資料集。

ISBN978-4-86563-079-4(2022年1月刊行)
A4判・344頁・定価14,800円+税
コロナ禍で売上減少の外食産業をどうするか？
ウィズコロナ食生活の変化を捉えるための豊富
な資料を満載！

ISBN978-4-86563-072-5(2021年6月刊行)
A4判・336頁・定価14,800円+税
新型コロナ禍終息後の日常生活と観光経済
をどう回復するのか？
地域振興のヒントが満載！

ISBN978-4-86563-074-9(2021年8月刊行)
A4判・344頁・定価14,800円+税
気候変動による被害の増加。被災者の体験
から学ぶ防災対策のあり方は？ 対策の見
直しと住民の安全のための幅広いデータ集。